

## アサリの模様の変化

### 震災ストレスがアサリに与える影響

Fig.1は5月12日に採集したアサリである。矢印で示した位置に模様の変化が見られ、これは「障害輪」ではないかと考えられる。「障害輪」とはアサリの生育環境が悪いと現れる模様である。

5月下旬に東邦大学の太越健嗣教授が松川浦で行った調査では約9割の個体に貝殻の模様に変化が見られたと報告されている。この調査では津波による環境の激変が主因ではないかとされているが、蒲生干潟のアサリでも同様のことが起こったのではないかとと思われる。

仙台市科学館では昨年まで夏に蒲生干潟で観察会を行っていた。昨年8月の観察会では干潟の外海側 (Fig.2)でたくさんのアサリを観察することができた。5月12日にアサリを採集したのは干潟の内側 (Fig.3)である。このアサリにできた「障害輪」の原因として、津波による外海側から干潟内へ移動を可能性の一つとして考えることができるであろう (Fig.4)。



Fig.1 アサリ



Fig.2 干潟の外海(太平洋側)



Fig.3 採集地点



Fig.4 アサリの移動イメージ、地図は震災前